

平成31年度入試【3年次編入学】

【日本語学・日本文学】

(法文学部・言語文化学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は一ページである。解答用紙は二枚、下書き用紙は一枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところへ記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙、下書き用紙は持ち帰ること。

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

勝命談してはく「しかるべき所などにて、無心なる女房などの歌詠かけたる、循なきこと多かり。それには故実のあるなり。まづえ聞かぬよしに空おほめきて、たびたび問ふ。されば、のちには恥ぢしらひて、定かにもいはず。これを取らばほどに返し思ひ得たればいひつゝ、詠みつくもあらねば、やがておほめきてやみぬる一つの事なり。また、なま宣仕へ人にもあれ、さるべききされたる女などの、そへことと名づけて、聞きも知らぬ歌の二句などを言ひ掛くることあり。もし心得たらば、いかにもいひつゞし。知らぬことならば、ただ『よもよしもおほされじ』などうちいひてあるべし。これは何方にも違はぬことなり。深く思ふぞといふ心にも、また、憂しつらしといふ心にも、おのづから專用しつゞし。心づきなまよしにいひたらむにこそ、心をやりたるやうなるべけれ、それもされたる戯れにいひなせるさまにもなりぬべきなり」。

(『無名抄』による)

問一 傍線部Aを口語訳せよ。

問二 傍線部Bのような返答がなぜ都合が良いのか、わかりやすく説明せよ。

二 破擦音とはどのような音か。具体例をあげて説明せよ。

三 次の漢詩は、本居孝允(一八三三—一八七七、長州藩出身、政治家)作の「勸学」である。読んで、以下の問いに答えよ。返り点、送り仮名はすべて省略した。

驚馬雖遲積歳多 高山大沢尽堪過 請看一掬泉巖水 流作汪洋万里波

問一 押韻字をすべて指摘せよ。

問二 起句「雖遲」、承句「尽堪過」をひらがなだけで書き下せ(現代仮名遣いを用いてもよい)。

問三 転句「請看一掬泉巖水」、結句「流作汪洋万里波」は、どのようなことをたとえているのか、簡潔に説明せよ。

四 以下の問いに答えよ。

問一 『梁塵秘抄』について知るところを述べよ。

問二 近世の国学における物語・和歌の研究について知るところを述べよ。

問三 次の文学史的事項の中から一つを選び、知るところを述べよ。

大江健三郎 坪内逍遙 林美英子 小説「刺青」 小説「雁」 小説「斜陽」